

日合商は昭和52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるものです。また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

Japan Plywood Wholesalers Association e-mail: jpw@oboe.ocn.ne.jp
発行所: 日本合板商業組合 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-4 TEL 03 (5256) 9080

日合商HP
https://www.nichigoshu.net/



2025年3月26日(水) 14:00~15:00

日合商 2024年度 第三回理事会を開催しました

出席理事総数 48名 (会場出席 32名、代理出席 2名、オブザーバー 2名、書面出席 16名)
出席監事 3名

足立建一郎理事長、小川明範副理事長、丸敏幸副理事長ら本部役員と、北海道・東北・北関東・東関東・東京・新潟・長野・静岡・北陸・関西・中国・四国・九州・沖縄の各支部・地区支部から理事・監事ら36名が出席し、千代田区の LEVEL XXI (Twenty-One) 東京會館において開催しました。

足立建一郎理事長の開会挨拶、つづいて足立建一郎理事長が議長となって第一号議案から第七号議案まで審議が行われ、全会一致で可決承認されました。

なお、第四号議案 第46回及び第47回の通常総会(総代会)の件では、第46回通常総会の主管となる中部日本支部の櫻井雅規支部長からエクスカージョンの紹介とともに、「名古屋ならではの講師に宗次氏を迎えて開催する講演会をお聞き逃さないように」とのアピールもありました。また、北陸地域初の開催となる第47回通常総会(2026年5月21日(木)開催予定)の主管となる北陸支部の石橋智洋支部長から開催に向けて各支部への協力要請がありました。

第五号議案 会勢強化の件では、会勢強化への取組みに合法木材供給事業者の認定メリットとして4月に施行される改正グリーンウッド法による原材料情報の証明に活用できることを訴

求して支部ごとの更なる会勢強化に努めていただくようお願いしました。

また、第六号議案 検討委員会(日合商本部の収支改定対策)の報告並びに賦課金改定(案)の件について役員会で検討を進め、具体案を資料にまとめて紹介。委員長を務める小川明範副理事長より詳細を説明しました。更に第七号議案 賦課金改定後の2025年度予算(案)の件で具体的な予算案を事務局より報告しました。

つづいて、報告事項①2024年度要望(陳情)活動について、②改正グリーンウッド法における、原材料情報の証明が日合商会員に加わるメリットになることを事務局より重ねて紹介しました。

議長から事務局に、その他議案について提案がないことを確認して審議を終了し、閉会しました。



足立建一郎理事長が理事会開会挨拶



小川明範副理事長



丸敏幸副理事長



第46回通常総会の魅力を紹介する中部日本支部 櫻井雅規支部長



第47回通常総会開催への協力を呼び掛ける北陸支部 石橋智洋支部長

●議事事項

- ① 2024年度下期事業報告及び決算見込みの件
- ② 2025年度事業計画(案)及び予算(案)の件
- ③ 役員候補選挙並びに総代の一部改選の件
- ④ 第46回及び第47回通常総会(総代会)の件
- ⑤ 会勢強化の件
- ⑥ 検討委員会(日合商本部の収支改定対策)の報告並びに賦課金改定(案)の件
- ⑦ 賦課金改定後の2025年度予算(案)の件
- ⑧ その他

●報告事項

- ① 2024年度要望(陳情)について
- ② 改正グリーンウッド法における原材料情報の証明について

2025年3月26日(水) 15:15~17:00

2024年度 第二回合板需給懇談会を開催しました

日合商 2024年度 第三回理事会終了後、同会場において、林野庁より林政部木材産業課 上席木材専門官 鈴木清史氏と流通班木材専門官 尾近 茂氏ご臨席のもと、2024年度 第二回合板需給懇談会を開催。日本合板工業組合連合会から井上篤博会長、野田四郎副会長、佐藤一郎副会長代理、中西宏一理事、岸博一理事、似内向理事代理、上鎌三専務理事ら7名に出席いただきました。日合商からは、足立建一郎理事長、小川明範副理事長、丸敏幸副理事長、全国各支部理事・監事ら37名が出席しました。

●議題

- ① 林野の行政活動について
- ② 国内合板の供給状況について
- ③ 国内各地の需要状況について
- ④ その他(質疑応答)

需給懇談会に先立ち、日合商足立建一郎理事長が主催者代表として挨拶。その中で、新設住宅着工数の前年割れがつづく中、日銀が金利上昇を進めることによる住宅ローン金利の上昇傾向と、地価・資材・人件費などコストアップによる住宅価格高騰の中で4月に施行される4号特例の縮小による今後の住宅需要への影響を懸念。また日本合板工業組合連合会の皆様が適正な利益を得て日本の森林再生に繋がられるよう合板の拡販・市況安定に向けた生販それぞれの立場から忌憚ない意見交換を行っていただきたいと、需給懇談会開催の意義を述べました。

つづき日本合板工業組合連合会 井上篤博会長挨拶の冒頭、国産合板拡販への謝辞を頂きました。また国産合板メーカーでは、国産材活用年間700立法メートルを目指すとともに、適正な合板価格で流通することが日本の森林再生に繋がり、国産材の山

元に利益を還元できることに理解・協力いただきたいと、要望がありました。

林野庁からは林政部木材産業課 上席木材専門官 鈴木清史氏ご挨拶の後、流通班木材専門官 尾近 茂氏とともに「木材産業課最新トピックス」と題して「1. 適正な木材価格の形成について」「2. 改正物流効率化法の施行について」「3. 令和6年の木材産業における労働災害・火災の発生状況」「4. 建築物のライフサイクルカーボン削減を通じた木材利用の促進について」の概要について情報を提供いただきました。

つづいて日本合板工業組合連合会からご出席の石巻合板工業(株)、(株)日新、(株)キーテック、新潟合板振興(株)、丸玉木材(株)から、国産合板の供給動向について、コストアップと、バイオマス利用との競合で素材となる原木不足傾向に対処しながら出荷量に応じた生産を継続中との報告がありました。

一方、日合商から出席の各支部代表者からは、大幅な住宅価格高騰を背景に住宅着工数減少で合板需要が伸び悩み状況にある中で投資向け賃貸住宅需要の増加傾向、エリアごとに需要に大きな格差が生じていることなどを報告。総括として小川明範副理事長が、分譲住宅事業者の不払いや倒産事例が出はじめていたり、大規模改修の認識がないまま実行されたリフォームが将来的に不法扱いされかねないことに警鐘を鳴らし、情報・意見交換を終えました。

合板需給懇談会終了後、同会場で立席形式による懇親会を開催。5月開催の第46回通常総会主幹支部の中部日本支部を代表し、実行委員長である吉田達弘理事による乾杯の発声でスタートし、日合連副会長の石巻合板工業(株)代表取締役社長 野田四郎氏による中締めをはさんで交流を深め、閉会となりました。



足立建一郎理事長が主催者代表挨拶



日本合板工業組合連合会 井上篤博会長挨拶



林野庁林政部 木材産業課 上席木材専門官 鈴木清史氏



林野庁林政部 流通班木材専門官 尾近 茂氏



GEO × LIVE
地球 × 生きる



GEO LIVE

次の生き方をつくろう。



合板需給検討委員会 2025年3月5日の検討結果

日本合板工業組合連合会・日本木材輸入協会・日本合板商業組合による「2024年度第四回合板需給検討委員会」を林野庁木材利用課ご臨席のもと、合板会館（日合商会議室）において開催。木材行政推進のための情報として林野庁に提供した合板の短期需給見通しの検討結果です。

合板 短期需給見通し

(Unit : 1,000m³)

		供給			需要 (出荷)			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2024(R6)10-12	前回予測	(1,159)	(630)	(529)	(1,180)	(640)	(540)	(964.641)	(128.357)	(836.284)
	実績	1,199.895	670.032	529.863	1,233.504	694.747	538.757	952.032	113.642	838.390
計		4,617.145	2,509.563	2,107.582	4,635.026	2,503.715	2,131.311			
2025(R7) 1-3	前回予測	(1,107)	(610)	(497)	(1,150)	(620)	(530)	(921.641)	(118.357)	(803.284)
	見込み	1,136.000	640.000	496.000	1,150.000	620.000	530.000	938.032	133.642	804.390
4-6	前回予測	(1,123)	(630)	(493)	(1,140)	(620)	(520)	(904.641)	(128.357)	(776.284)
	見通し	1,174.000	650.000	524.000	1,140.000	620.000	520.000	972.032	163.642	808.390
7-9	見通し	1,187.000	650.000	537.000	1,160.000	630.000	530.000	999.032	183.642	815.390

国産合板の需要

1. 令和6年第4四半期の実績について 今回 (695千m³)

(実績数量の背景、前年同期との比較等)

戸建て分譲住宅は苦戦しているものの、合板需要に影響を与える木造住宅着工戸数及び建築床面積は10月～12月において前年同期を上回る。また、前年は、価格の底値が見えずに当用買いを継続していたが、当期は価格の底値が見えてきたこともあり、需要側は実需の数量に加え在庫補充での発注も行い、出荷量は増加となる。結果、前年同期比101.1%の結果となる。

2. 令和7年第1四半期の見込みについて 今回 (620千m³)

(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)

4号特例の縮小を控え、駆け込みによる着工増を期待したいところだが、1月の木造住宅着工戸数及び建築床面積は昨年同期を大幅に下回っている。前年は当用買いを徹底していたが、今回は価格も上昇基調にある事と、前期に手当した在庫の出荷状況にもよるが、前期の新設着工物件への納材も見込めることから、実需に見合った数量は動く見込み。結果、前期は下回るものの、前年同期比105.1%と見込む。

3. 令和7年第2四半期の見通しについて 今回 (620千m³)

(見通し作成の根拠)

4号特例縮小により確認申請等に時間を要し工期に影響を及ぼす事も考えられ、需要の盛り返しには不透明感が漂う。一方、供給側は原木不足等によりアイテムによっては即納体制が整わない状況が続き、また人手不足や運送費の高騰もある事から、もう一段の上値を伺う状況と推測。なお、前年同期も価格値戻しの動きがあったが、需要側には浸透せず当用買いが継続されメーカー在庫は増加傾向になっていた。しかし、今回は緩やかではあるものの昨年末からの値上げが浸透してきており、今後もこの状況が続くなら、前期と同程度の出荷量となる見通し。

(前年同期との差異について)

結果、前年同期比102.2%の見通し。

4. 令和7年第3四半期の見通しについて 今回 (620千m³)

(見通し作成の根拠)

秋需に期待したいところだが、4号特例縮小が市況にどのような影響を与えるかが不透明。また、新設着工数が増加しても、平屋住宅の比率が高まっている事もあり、需要増を期待するには懸念が残る。いずれにせよ、価格が堅持され、需給バランスが保たれていれば、需要側は不安に陥らず前期同程度の出荷量となる見通し。

(前年同期との差異について)

結果、前年同期比102.8%の見通し。

輸入合板の需要

1. 令和6年第4四半期の実績について 今回 (539千m³)

(実績数量の背景、前年同期との比較等)

円安基調や、需要の不透明感もあり入荷量は減少傾向。品薄アイテムが散見されていることから需要側では、不足分の手当が行われた。但し、大阪万博の影響を受け職人不足がある事から、大型物件の着工が延期されていることもあり、需要の盛り上げには欠ける状況となる。その結果、前期と同程度、前年同期比92.9%の結果となる。

2. 令和7年第1四半期の見込みについて 今回 (530千m³)

(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)

マレーシアでは大雨の影響で原木不足になり、生産量は減少。また先行き需要の不透明感から新規発注も控えられ、入荷量は減少傾向となる見込み。新規入荷減や今後の価格上昇等を見据え、需要側は品薄アイテム中心に手当を行っており、出荷量は新規入荷量相当の530千m³と、前年同期比96.9%を見込む。

3. 令和7年第2四半期の見通しについて 今回 (520千m³)

(見通し作成の根拠)

更に新規入荷量の減少が予測され、引き続き品薄が懸念されるアイテムが発生すると思われる。また、価格は原木不足や現地人件費上昇等により、上げ基調で推移すると予測。市場の盛り上げには欠けるものの、需要側は品薄アイテムを中心に手当を行い、前期同様に新規入荷量相当の手当を行っていく見通し。

(前年同期との差異について)

結果、前年同期比の102.8%の見通し

4. 令和7年第3四半期の見通しについて 今回 (530千m³)

(見通し作成の根拠)

国内合板同様に秋需に期待したいところだが、需要の乏しさを為替変動の影響もあり、供給量の大幅な増加は見込めない状況。なお、塗装型枠は国内在庫が低水準のため、大型物件の着工が始まると急激に品不足に陥る可能性もある。但し、当期における新規着工の情報が乏しい為、現時点では予測外とする。需要側は引き続き品薄アイテムの手当を進めていくと想定されることから、出荷量は前期と同程度、また新規入荷量相当の手当が行われていく見通し。

(前年同期との差異について)

結果、前年同期比の98.1%の見通し。

東京の合板卸売り価格 (円)

※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より
(注) 1車単位 (10トン) 問屋売り価格・90日手形 (JAS製品)

品目		3月12日	前週比	3月19日	前週比	3月26日	前週比	4月2日	前週比
		ラワン JAS F☆☆☆☆	2.3mm T2	920	0	920	0	920	0
	4.0mm //	1,200	0	1,200	0	1,200	0	1,200	0
	5.5mm //	1,380	0	1,380	0	1,380	0	1,380	0
	9.0mm //	2,000	0	2,000	0	2,000	0	2,000	0
	12.0mm //	2,550	0	2,550	0	2,550	0	2,550	0
針葉樹構造用	F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,490	0	1,490	0	1,490	0	1,500	+10
	F☆☆☆☆ 24mm 実付	3,400	0	3,400	0	3,400	0	3,400	0
	F☆☆☆☆ 28mm 実付	4,150	0	4,150	0	4,150	0	4,150	0
	F☆☆☆☆ 9mm 3×10	2,500	0	2,500	0	2,500	0	2,500	0
輸入・型枠用	12mm JAS製品	1,910	0	1,910	0	1,910	0	1,910	0
輸入・構造用	F☆☆☆☆12mm JAS製品	1,960	0	1,960	0	1,960	0	1,960	0

会員の皆様の福利厚生サービスの向上を図る

福利厚生制度

「損害保険 / 集団扱制度」ご紹介！

- メリット1
保険料が割安！
- メリット2
制度対象者の幅広さ
- メリット3
スムーズなお支払い！



詳細はこちらから

ノン・ホルムアルデヒド 高性能ガラスウール断熱材



AcClear α 断熱等性能等級6

5~7地域 仕様例

天井 AcClear α R7.1
高性能 20K 250mm (R7.1)

熱伝導率 0.035 W/(m·K)

壁 AcClear wool α
高性能 36K 105mm (R3.3)

熱伝導率 0.032 W/(m·K)

床 AcClear Uボードピルス α
高性能 36K 105mm (R3.3)

熱伝導率 0.032 W/(m·K)

吹き込み用ガラスウール AcClearプロ-S
13K 400mm厚 (R7.6)



※別途、物件ごとに性能計算が必要です

●お問い合わせ TEL.0120-99-6388
営業時間 9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00 (平日のみ)

吉野石膏グループ
旭ファイバーグラス株式会社

CO₂削減で地球温暖化改善 EPD 認証取得製品

壁武者

JIS規格：構造用パーティクルボード JIS A 5908

7つの不安要素を一気に解消!!

- 耐震強度
- 高性能
- 安定供給
- 廃木材処理
- 人手不足
- 高コスト
- SDGs



戸建住宅建築現場の救世主！
採用工務店急増中！



東京ボード工業(株)は、この度、従来のEPD Internationalに加え日本版EPDであるSuMPO EPDを取得しました。



EPDとは、Environmental Product Declarations (環境製品宣言)の略で、製品の一生(ゆりかごから墓場まで)の環境影響を調査(ライフサイクルアセスメント:LCA)し、その結果を明らかにしたタイプIII環境ラベルです。



リサイクルで地球環境の未来を創る
東京ボード工業株式会社

〒136-0082 東京都江東区新木場2丁目11番1号
TEL:03-3522-4138 FAX:03-3522-4137



合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会 猪爪 清和

概要

2025年1月の新設住宅着工戸数は56,134戸（前年同月比4.6%減）で9カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は29,463戸（前年同月比7.2%減）で5カ月ぶりの減少となった。季節調整済年率換算値は77.4万戸で前月比1.2%減、先月の増加から再びの減少となる。

利用関係別では、持家が13,525戸（前年同月比8.6%減）で4カ月ぶりの減少、貸家は24,387戸（同比1.2%減）で先月の増加から再びの減少、分譲住宅は17,899戸（同比6.0%減）で9カ月連続の減少となった。分譲の内訳は、マンションが9,051戸（同比0.3%増）先月の減少から再びの増加、戸建ては8,715戸（同比11.7%減）と27カ月連続の減少となった。

持家、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比4.6%の減少となった。

国内・外合板の供給量

1月の国内合板生産量22.0万㎡（前月比100.7%、前年同月比109.1%）と発表された。

その内、針葉樹合板の生産量は21.7万㎡（同比100.6%、108.8%）となり、出荷量は22.2万㎡（同比97.1%、112.9%）で在庫量は16.3万㎡となった。

輸入合板の1月度入荷量は17.9万㎡（前月比103.7%、前年同月比89.1%）となった。国別入荷量は、マレーシアが4.7万㎡、インドネシアが5.2万㎡、中国が4.3万㎡、ベトナムが3.5万㎡となっている。

今後の見通し

輸入合板に関しては、大方の予想通りの入荷になっている。両産地共に今後も急激な生産増は見込めない状況である。まだ現地価格は強気で推移している。港頭在庫は極めて低水準で推移しており、アイテムによっては欠品状態が継続され、多少価格の上昇が進んでいる。まだ必要量は先手で確保しておいたほうがよいだろう。

国内針葉樹合板は、荷動きに盛り上がりがあるとはいえないが、徐々に値上げは進んでいる。一部のメーカーにおいては原木不足から生産が伸びず、欠品や納期遅延も未だに散見されている。価格の居所も地域やメーカー間で値差は徐々に縮まりつつある。3月以降の価格も値上げを打ち出しており強気姿勢は崩していない状態。上げ相場になりメーカー在庫から流通在庫に多少動いたが、実需に繋がっているか注視が必要である。

JK情報センター

2025(令和7)年4月～6月需要動向予測 (抜粋)

工務店様・販売店様による需要予測

2024年の新設住宅着工数は79万2,098戸（前年比96.6%）と2009年のリーマンショック後の78万8,410戸に次ぐ少なさとなった。利用関係別で見ると、持家は21万8,132戸（前年比97.2%）で、3年連続の前年割れとなったが、直近では10月以降前年を超えており、回復の兆しが見受けられる。一方で分譲住宅においては前年比91.5%と落ち込み幅が大きく、特に戸建分譲は昨年一年間を通して前年を下回り厳しい状況が続いている。

そのような中、2025年4月～6月の需要予測がまとまった。工務店・販売店の需要予測では、工務店がマイナス23.1ポイント、販売店がマイナス27.8ポイントで、前回まで3回連続で改善していたが、今回の需要予測では低下する結果となった。

アンケート調査でも、今回の建築基準法等の改正による住宅市場の落ち込みを懸念する回答が多かったが、施行が目前に迫り需要予測にもその懸念が反映されたものと思われる。今回の法改正が、今後どう影響してくるのか。次回の需要予測にも注目したい。

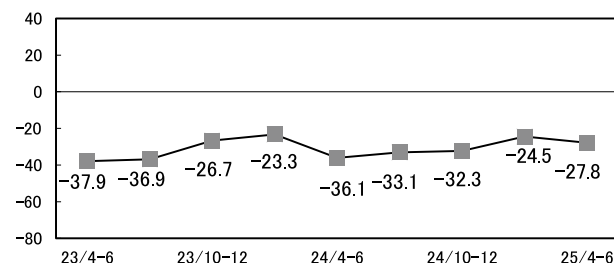
主要メーカー様による販売予測

主要メーカーの販売予測は、木質建材を除く分野で前回調査から「減少予測」が低下した。中でも『窯業/断熱』は増加予測が減少予測を上回り大きく改善した。建築物省エネ法の改正を目前に控え、高断熱化への取り組みが進んでいると思われる。一方で住設機器は前回に引き続き増加予測が低下し、今後の動向に気を付けたい。

	増加予測	前年並予測	減少予測
合板	9.1%	45.4%	45.5%
木質建材	16.7%	50.0%	33.3%
窯業/断熱	31.3%	43.7%	25.0%
住設機器	14.3%	64.3%	21.4%

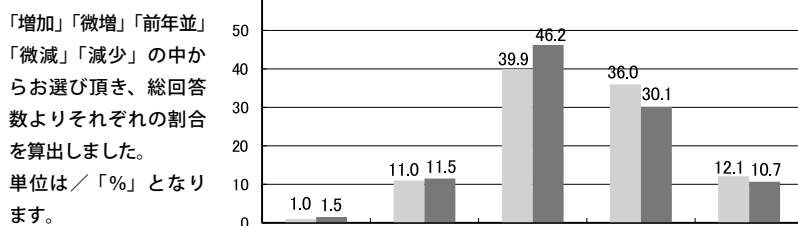
販売店様による景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。



販売様による需要予測

全国 回答数 2,542



窯業系外装材

メインエクセラーD16 グランスペック60 ルビドフラット

＼おかげさまでニチハは/
20年連続 No.1*

住宅用窯業系外装材販売数量

※2004年度～2023年度住宅用窯業系外装材市場 販売数量ベース (株)矢野経済研究所調べ 2024年7月現在
※本調査結果は、定性的な調査・分析手法による推計である。



素晴らしい人間環境づくり
ニチハ株式会社

ニチハ公式Instagram
@nichha_officialjapan



銘木挽き板内装材 ボード / 挽き板

WOODRIUM

美しさ、機能性、環境性を兼ね備えた、
かつてない選択肢。



WOODRIUM

木を諦めてきたキッチンや洗面台のカウンタートップなどにもお使いいただけます。

WOODTEC
朝日ウッドテック株式会社

皆様のお越しを心よりお待ちしております！

日本合板商業組合 第46回通常総会 in 名古屋

●通常総会 (2025年度通常総代会) 5月22日(木)

会場：名古屋観光ホテル

総会受付 13:00～

総会 14:00～15:30

講演会 15:45～17:15

演題：「宗次流 人生と経営の極意」

講師：宗次徳二(むねつぐとくじ)氏

カレーハウス CoCo 壱番館 創業者

懇親会 18:00～20:00 立食形式のパーティー

二次会 20:15～21:00 自由歓談



●エクスカージョン 5月23日(金)

・観光コース：伊勢神宮参拝とおはらい町・おかげ横丁散策

伊勢神宮内宮の御神楽で雅楽と共に国風歌舞の優舞を奉納

→昼食は伊勢名物「てこね寿司」→おかげ横丁散策

・ゴルフコース：三好カントリー倶楽部

名古屋市東部の丘陵に広がる、東海クラシック開催でも

知られる名門ゴルフ場の本格派チャンピオンコースでのプ

レーを楽しんでいただきます。

日合商支部・地区支部 総会スケジュール

日程	支部・地区支部	会場
4月23日(水)	北海道	京王プラザホテル札幌
4月24日(木)	関西	ホテル日航奈良
6月10日(火)	神奈川	崎陽軒本店
6月17日(火)	北関東	マークグランドホテルさいたま新都心
6月27日(金)	北陸	ホテル日航金沢
6月27日(金)	中国	シェラトングランド広島

【グリーン購入法】に基づき

2025年3月末現在

事業者新認定・期限更新した11社

北関東	-0079-①	オカモト建商(株)	代表取締役	米山 雄大
東京	-0086-⑥	早川住建(株)	代表取締役	早川 豪
東京・山梨	-0250	南野中製材所	取締役社長	野中 敏光
北陸	-0085-⑥	南陽吉久(株)	代表取締役社長	中村 正治
中部日本	-0032-⑥	(株)カメダ	代表取締役	亀田 光弘
関西	-0074-④	(株)サカグチ	代表取締役	阪口 泰造
四国	-0007-⑥	ミロク商事(株)	代表取締役	井戸 清隆
四国	-0008-⑥	大家建材(株)	代表取締役	大家 浩稔
九州	-0021-⑥	高千穂(株)	代表取締役	川井田 佳遠
九州	-0024-⑥	松林商会	代表者	松林 武宏
九州	-0053-④	(株)大和ハウジング	代表取締役	吉松 聡司

日合商ホームページ トピックスより抜粋

トピックスへは
こちらから▶



2025.03.24 官公庁からのお知らせ

【林野庁】(送付) 2026年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請について

政府(内閣官房、文部科学省、厚生労働省、経済産業省)がまとめた

「2026(令和8)年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請について」は、

https://www.cas.go.jp/seisaku/shushoku_katsudou_yousei/2026nendosotu/index.html



2025.03.19 官公庁からのお知らせ

クリーンウッド・ナビ 全面リニューアルのお知らせ

リニューアル版クリーンウッド・ナビでは改正法の法制度に関するページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/summary/summary.html>

お役立ち情報には改正法版パンフレット等、これまで掲載してきた運用資料や

Q&A(今月末に改訂予定)についても引き続き掲載、順次更新します。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/summary/brochure.html#pamph>

クリーンウッドシステム(素材生産販売や木材関連事業者の方々を

サポートするために開発)のページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/clean-wood-system/>



2025.03.19 官公庁からのお知らせ

【お知らせ】「モクレポ〜林産物に関するマンスリーレポート〜」

3月号では、2023年林業産出額の概要や、適正な木材価格の形成に向けた

意見交換の実施などについて特集。

2025.03.10 官公庁からのお知らせ

「住宅省エネ2025キャンペーン登録事業者向け説明会」開催のお知らせ

2025年3月より、国土交通省・経済産業省・環境省の3省連携により行う、

住宅省エネ2025キャンペーンがスタート。

登録事業者向け説明会が(一社)住宅瑕疵担保責任保険協会主催で開催されます。

◆対面説明会【日時】2025年4月4日(金)～5月15日(木) 14:00～16:30

【開催地】16都道府県 【参加費】無料

【申込フォーム】は、住宅瑕疵担保責任保険協会 <https://kashihoken.jp>



2025.03.05 官公庁からのお知らせ

【林野庁】(周知依頼)大臣メッセージ：価格転嫁・取引適正化に関する今後の取組について

価格転嫁・取引適正化について、農林水産大臣からメッセージ「価格転嫁・適正価格に関する

今後の取組みについて」を发出了しました。

日合商支部で3月に開催した懇親ゴルフ会

3月8日(土)

中国支部

賀茂カントリークラブにて

23名参加

寒い中でしたが、晴天のもとで親睦を深めました。

【成績TOP5】(敬称略)

優勝 高橋 尚一

準優勝 三島 英揮

3位 本北 洋介

4位 菅波 修

5位 森本 浩之



私たちが
世界のために実現出来ること。

地球と暮らしを考える。



JKホールディングスグループでは、

持続可能な社会構築を目指す

SDGs参画を通して、現代社会に

蔓延する多くの課題解決に向け取り組みます。

地球資源を暮らしに活かす企業だからこそ、地球の未来を

想い、人、自然、そして経済の発展に貢献します。



JKホールディングス株式会社

東京都江東区新木場1-7-22 TEL.03-5534-3800 <https://www.jkhd.co.jp>

